

令和5年2月17日 19:00～ 役場本庁2B会議室

○ 議事

(1) 各部会の報告について

第2回統合準備委員会以降の各部会の進捗状況と提案、確認事項について各部長より報告を受け、本日の全体会にて協議のうえ承認された。

① 第1部会からの協議資料をもとに以下ア～エの説明があり質疑応答を行う。

ア 校歌の歌詞については、募集した言葉を参考にして、岸田教授に作成を依頼する。夏頃までを目途に完成を目指す。

イ 校歌の作曲については、まず、本町出身の作曲家の方に依頼する。

ウ 校章については、デザインの募集はせず、本町出身でデザインのできる方を選定して依頼する。

エ 校訓については、「協働」「自立」「創造」などが挙げられている。中学校長の試案をたたき台として修正しながら、令和5年度中に部会案を作成する。

② 第2部会からの協議資料をもとに以下ア～エの説明があり質疑応答を行う。

ア 制服（冬服）については、アンケート結果、現代社会における多様な価値観への適応、新しい学校としての意味、周辺市町の動向などから令和7年度新入生からブレザータイプの制服が望ましいと判断している。上着の内側に着る物（ワイシャツ・ポロシャツなど）については、引き続き検討していく。

イ 体操服については、アンケート結果から、新入生から指定して統一する。2・3年生は統合前から使用しているものを使用する。という意見が多かったことから、令和7年度新入生から新しいデザインの体操服（冬・夏）を採用する。今後は、デザインなどの具体的な案を、保護者・児童生徒が選択できるアンケートの実施を検討していく。

ウ 学校指定バッグについては、両校では現行2つのバッグを使用しており、通学においては、自転車の荷台に重いバッグを乗せる方法と、もう1つは肩に背負う方法の2つが適切である。バッグを指定することの必要性については当部会委員の中でも意見が分かれており、本来であれば校則で定めるべき事項の範疇に属すると考えられることから、今後、中学校において検討し判断するものとする。

エ 上靴・体育館シューズについては、アンケート結果では事務局案で良いとの回答が多かった。しかし、自由意見や部会協議の中でも、体育館シューズの使用頻度について、またその必要性について疑問視する意見もあった。しかし、現在の野上中学校の校舎から体育館への通路は屋外であり、体育館床面保護の観点から、上靴のほかに体育館専用シューズの使用は重要であると考えられる。美里中学校出身の2・3年生への適用や、通学及び屋外で使用する下靴に関しても、学校でのルールづくりが必要であり、本来であれば校則で定めるべき事項の範疇に属すると考えられることから、今後、中学校において検討し判断するものとする。

オ その他確認事項として、制服・体操服・上靴・体育館シューズの販売店について

は、従来の販売組合に依頼する。

③ 第3部会からの協議資料をもとに以下ア～オの説明があり質疑応答を行う。

ア 記念誌は、2校分を1冊にまとめて作成することを前回で報告しており、収集した資料などの誌面構成を考えている。部会での原稿依頼については、学校運営協議会会長、旧国吉中学校及び長谷毛原中学校関係者も加えて原稿依頼を考えている。学校沿革記録については、新制中学校の段階からの記録を掘り返して編成していく予定である。

イ 発刊費用は、令和6年度当初予算で確保する予定である。

ウ 閉校式については、当部会委員を2中学校それぞれの担当に分けて検討していく。2校の独自の方法で、生徒・保護者・地域の意向を採択しながらイベントを考えていくこととする。閉校式は、教職員の異動や物品の搬送に配慮すれば、令和7年3月24日（月）の修了式後が考えられる。

エ 記念品等については、まだ具体的なことは決定できないので、今後検討する。部委員からは、美里中学校跡に記念碑を建てるとの意見もあったが、設置のための永年的な土地確保が問題である。

オ 2校の記念となる備品については、新中学校に展示する予定である。リストは現在作成中で、展示スペースについては未定である。また、記念誌の内容が新中学校ホームページで見ることができるようであることを検討している。

④ 第4部会からの協議資料をもとに、以下ア～ウの説明があり質疑応答を行う。

ア P T Aの新中学校案を作成していく。

規約、組織、地区割り、役員を選出方法、行事や活動、予算、慶弔規程。

イ 上記アを2校合同のP T A臨時総会で提案し、承認を受ける。なお、統合後の新役員についても同時に承認を受ける。

ウ P T A会計持ち寄り金については、統合後、新P T Aが発足時に必要な金額を部会において精査し、P T A会員数の割合に応じた金額を持ち寄る。

(2) 今後のスケジュールについて

① 紀美野中学校開校のスケジュールの一部変更か所（資料 38・39 頁網掛け部分）について事務局から説明。

② 令和6年度予算が必要な項目については、令和5年10月までに開催予定の全体会に諮る必要があるため、それまでに各部会において内容を詰めるよう事務局から説明。

③ 本会委員で新年度に役員交代する場合は、決定した内容に対して軌道修正を強いるようなことのないよう、引継ぎを丁寧に行うよう事務局から依頼。

④ 令和5年度第1回の本会全体会の開催日程を調整。

令和5年5月19日（金）19：00～ 役場本庁にて開催予定

(3) その他

委員からの意見

- ・ 現在の中学生は、統合時に中学生となる後輩のためだけでなく、「後輩のために」

自らの経験から得た考えなどを新しい中学校づくりに活かしていただきたい。

- ・ なかなか機会がなく、育友会の中で保護者の意見を聞くことができていない。また、野上・美里2つの地域それぞれの行事に学校（児童生徒・保護者）が関わっていけないのか心配である。
- ・ 保護者が出会える機会が少ない。
- ・ アンケートは親の意見になってしまう。子どもの意見は学校でないと聞けないのではないか。
- ・ この町に来て思うのは、子育てに対して手厚いこと。今後アンケート等で提示するものは、ある程度準備委員会で絞り込んでから、子どもたち保護者の方々に提示することになるが、できるだけ選択肢に思い切った自由度を加えていけるようにチャレンジしていても良いのではないか。
- ・ 通学距離が遠くなってもその楽しさが見つかる。制服・カバンなどは、指定すれば良いと思う。

○ 閉会 20：20